

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年1月14日

上場会社名 株式会社バロックジャパンリミテッド 上場取引所 東  
 コード番号 3548 URL http://www.baroque-global.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 博之  
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 藤本 裕二郎 (TEL) 03(5738)5775  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	36,092	△25.3	1,186	△69.9	883	△77.4	223	△90.8
2020年2月期第3四半期	48,292	—	3,944	—	3,903	—	2,423	—

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 377百万円(△83.1%) 2020年2月期第3四半期 2,238百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	6.20	—
2020年2月期第3四半期	66.69	66.60

(注) 1 2019年2月期より決算日を1月31日から2月末日に変更したことに伴い、前第3四半期(2019年3月1日から2019年11月30日)については比較対象となる前々第3四半期(2018年2月1日から2018年10月31日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2021年2月期第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	38,620	20,534	49.4
2020年2月期	38,282	21,492	52.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 19,073百万円 2020年2月期 20,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	52,547	△20.2	1,550	△66.3	1,178	△74.3	312	△89.1
								8.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	36,676,300株	2020年2月期	36,676,300株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	662,000株	2020年2月期	718,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	35,982,065株	2020年2月期3Q	36,344,937株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の制限による景気悪化の影響で極めて厳しい状況で推移しました。経済活動の制限が徐々に緩和されたことで個人消費の緩やかな回復の兆しも見られたものの、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再度拡大傾向となり、依然として先行きが不透明な状況が継続しています。

このような環境下、当社グループの国内事業につきましては、政府施策等の影響もあり消費回復基調となった10月にかけて伸長したものの、その後の新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い消費動向が鈍化する中、国内売上高及び国内売上総利益は前年同期比を下回りました。なお、国内通販売上高は前年同期比、伸長しております。販売管理費につきましては、広告宣伝費、歩合家賃、販売委託費の削減等による更なる抑制に取り組んでおります。

戦略的事業パートナーであるBelle International Holdings Limited（以下、Belle社）との中国合弁事業につきましては、中国での新型コロナウイルス感染症拡大に一定の歯止めがかかり個人消費の回復が見られる状況の下、小売会社（持分法適用会社）及び卸会社（連結子会社）の売上高は回復基調を示しました。加えてライブコマース等の伸長があり、中国通販売上高は増加しております。また米国事業につきましては、MOUSSY VINTAGEの販売が安定し引き続き堅調な推移となっております。

当第3四半期連結会計期間末における店舗数につきましては、国内店舗数は373店舗（直営店287店舗、FC店86店舗）、同海外店舗数は5店舗（直営店5店舗）、合計378店舗になりました。また、Belle社との合弁会社が展開する中国小売事業の店舗数は292店舗になりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は360億92百万円（前年同四半期比25.3%減）、営業利益は11億86百万円（前年同四半期比69.9%減）、経常利益は8億83百万円（前年同四半期比77.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億23百万円（前年同四半期比90.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億38百万円増加して386億20百万円となりました。これは、現金及び預金が15億5百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が12億6百万円増加したこと、及び商品が7億24百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて12億96百万円増加して180億86百万円となりました。これは、短期借入金により30億円増加したこと、支払手形及び買掛金が8億12百万円増加した一方、長期借入金が9億7百万円減少したこと、未払金が7億91百万円減少したこと、未払法人税等が7億79百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて9億58百万円減少して205億34百万円となりました。これは、配当金の支払に伴い利益剰余金が13億74百万円減少したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により2億23百万円増加したこと等によるものです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,133	14,628
受取手形及び売掛金	7,455	8,661
商品	5,163	5,888
貯蔵品	61	149
その他	472	388
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	29,285	29,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,544	1,565
土地	350	350
建設仮勘定	7	2
その他（純額）	104	84
有形固定資産合計	2,005	2,003
無形固定資産		
ソフトウェア	566	654
その他	74	91
無形固定資産合計	640	745
投資その他の資産		
投資有価証券	1,666	1,400
敷金及び保証金	3,334	3,198
繰延税金資産	1,219	1,425
その他	130	130
投資その他の資産合計	6,351	6,154
固定資産合計	8,997	8,904
資産合計	38,282	38,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,442	4,255
短期借入金	—	3,000
1年内返済予定の長期借入金	3,982	200
未払金	1,868	1,077
未払費用	653	507
未払法人税等	1,338	558
預り保証金	25	5
賞与引当金	261	301
資産除去債務	66	64
その他	211	237
流動負債合計	11,849	10,207
固定負債		
長期借入金	3,125	6,000
長期末払金	111	107
退職給付に係る負債	18	19
預り保証金	470	464
資産除去債務	1,056	1,120
繰延税金負債	64	63
その他	93	103
固定負債合計	4,940	7,879
負債合計	16,790	18,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,258	8,258
資本剰余金	8,075	8,059
利益剰余金	4,854	3,703
自己株式	△749	△692
株主資本合計	20,439	19,327
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△213	△254
その他の包括利益累計額合計	△213	△254
非支配株主持分	1,267	1,461
純資産合計	21,492	20,534
負債純資産合計	38,282	38,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	48,292	36,092
売上原価	19,527	15,667
売上総利益	28,765	20,425
販売費及び一般管理費	24,820	19,239
営業利益	3,944	1,186
営業外収益		
受取利息	5	4
為替差益	—	18
補助金収入	80	73
その他	16	27
営業外収益合計	102	123
営業外費用		
支払手数料	20	20
支払利息	33	25
為替差損	30	—
固定資産除却損	28	4
持分法による投資損失	9	343
その他	22	32
営業外費用合計	144	426
経常利益	3,903	883
特別利益		
雇用調整助成金	—	221
特別利益合計	—	221
特別損失		
店舗臨時休業による損失	—	397
減損損失	123	79
特別損失合計	123	476
税金等調整前四半期純利益	3,780	627
法人税、住民税及び事業税	1,016	389
法人税等調整額	178	△188
法人税等合計	1,195	201
四半期純利益	2,584	426
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	203
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,423	223

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	2,584	426
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△206	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△140	△21
その他の包括利益合計	△345	△49
四半期包括利益	2,238	377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,153	182
非支配株主に係る四半期包括利益	84	194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(会計上の見積りの不確実性について)

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響は、外出自粛、休業要請等による来店客数の減少となります。当第3四半期末においては、新型コロナウイルス感染症の現下における状況に鑑み、経済活動が再開されている地域では緩やかに業績が回復すると見込んでおりますが、例年並みの業績までは回復せず、当社グループへの新型コロナウイルス感染症の影響は当連結会計年度末まで一定程度残るとの仮定の下、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、収束に更に時間を要する場合には当社グループの経営成績及び財政状況に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。